

緊急

三

19年 9月 9日  
二章 424  
貯業 965

木申

木申  
總裁  
9.13



伺

局長 貯



(后)

主 資 經 長 規  
不 幸 災 難

(后)

豫 監 經 施 獎 計 地



二業  
六村

文 351 / 19.9.12

今般大藏省ヨリ臨時資金調整法第十條ノ三及第十條ノ五ノ規定ニ基キ福券規則ヲ制定公布シ

郵便官署ニ於ケル福券取扱ニ關スル件



日本勸業銀行  
 種ヲ以テ郵便官署ニ於テモ戰時債券ノ例ニ倣ヒ之ガ賣捌及割増金支拂ニ付キ協力方要望アリタル處全證券ハ現在郵便官署ニ於テ取扱ヲ爲シツツアル報國債券及貯蓄債券ノ一部ニ代替スルモノナルニ鑑ミ特ニ右要望ニ應ズルコトトシ之ガ取扱方左案通牒相成可然哉  
 仰高裁

日本勸業銀行ヲシテ高額割増金附證券ヲ福券ナル名稱ノ下ニ發行セシムルコトナリタル種ヲ以テ郵便官署ニ於テモ戰時債券ノ例ニ倣ヒ之ガ賣捌及割増金支拂ニ付キ協力方要望アリタル處全證券ハ現在郵便官署ニ於テ取扱ヲ爲シツツアル報國債券及貯蓄債券ノ一部ニ代替スルモノナルニ鑑ミ特ニ右要望ニ應ズルコトトシ之ガ取扱方左案通牒相成可然哉

仰高裁

追テ關係規定改正ハ取扱料金ニ關シ目下大藏省ト折衝中ニ付之ガ決定ヲ俟テ措置ノコト



依命通牒

貯金保險局長

各逓信局長宛

郵便官署ニ於ケル福券取扱ニ關スル件

ト致度

今般臨時資金調整法第十條ノ三及第十條ノ五並ニ大藏省令第八九號福券規則(八月三十一日官報掲載)

ニ依リ日本勸業銀行ニ於テ福券ヲ發行スルコトトシ郵便官署ニ於テモ戰時債券ノ例ニ倣ヒ

郵便振替貯金ニ依ル債券募集、元利金支拂並貸付事務特別取扱規則及全取扱規程ニ依リ之ガ賣捌及獎金支拂事務ノ取扱ヲ爲スコトト相成候條左記了知ノ上貴管内各郵便局ニ對スル周知



等可然取計相成度

編着見本

追テ福券規則、第一回福券發行條件及大藏省國民貯蓄局長ヨリ地方長官宛通牒寫爲參考

添付ス

記

一、取扱ノ範圍

郵便官署ニ於テハ福券ノ賣捌及獎金ノ支拂ノミ取扱ヒ元金ノ支拂ハ之ヲ取扱ハザルモノ

ナルコト



富強銀行ニ關スル件

辭書、二葉

今回別冊ノ題リ臨時會令私事法中改正法律案準備及全法律等ノ決定ヲ見タル事之ニ依レハ政  
府ハ命令ノ定ムル者ヲシテ富強銀行發行セシメルコトトナリ其ノ發行ニ關リテハ主務省  
ヨリ郵便官署ニ於テ之カ事務及營業全支持ノ取扱方希望アルモノト被テ想定理ニ郵便官署ニ  
於テ取扱ヲ爲シ戸ル形勢ノ發行ハ富強銀行ト同正ニ停止セラルヘク且ハ官署ノ有スル國家的  
使命等ニ關ミ右希望アリタルトキハ之ニ應スルヲ適當ト認ム而シテ其ノ際措置スヘキ事案ヲ  
考慮スルニ次ノ如シ

一、 審 判

審口費ニ關聯スルト共ニ其ノ引受等ハ郵便官署ニ於テ消化可能ト認ムル範圍ヲ限度トシ賣  
出期等ニ營業之ヲ決定スルモノト爲スコト

二、 營業全支持

經集臨時會ニ於テハ營業全ノ支持ハ爲ササルコトトシ日一定額以上ノ營業全ハ取仕中ノ  
事情又ハ郵便債務等ヲ以テ交付シ右以下ノモノハ現金ヲ以テ支持ヲ爲スモノトスルコト

三、 取仕料金







裏面白紙

逓信省令 逓信省令 中政正 逓信省令

一九二二 六月 廿一日

- 一 政府ノ命令ノ取次ニ關シテ必要ナルトキハ命令ノ定ムル者ヲシテ官廳ノ設置セシムルコトヲ事ニトスルコト
- 二 國民貯蓄ノ奨励ニ關スル事項ニ關シテ逓信省令ニ依リ市町村ニ委員會ヲ置クコトヲ事ニトスルコト
- 三 國民貯蓄ノ奨励ニ關シテ必要ナルトキハ命令ニ依リ行スル貯蓄債票及券類ノ一部及取附券ノ署名者等ヲ事ニトスルコト
- 四 國民貯蓄ノ奨励ニ關シテ必要ナルトキハ命令ニ依リ行スル貯蓄債票及券類ノ償還以外ノ割換金附證券ノ割換金位ニ國民貯蓄ノ奨励ニ關シテ必要ナルトキハ命令ニ依リ行スル貯蓄債票及券類ノ割換金ニ取次ヘシムルコト
- 五 日本逓信銀行ノ債權發行法第五十條ノ旨ニ依リ行スル貯蓄債票及券類ノ發行額ノ定額預金及公債預金以外ノ預金ノ額ニ關スル
- 六 日本逓信銀行ノ定額預金及公債預金以外ノ預金ノ額ニ關スル



臨時資金調整法中改正法律案

臨時資金調整法中改正法律案

臨時資金調整法中改正法律案

第六條第一項中「五丁債票」を「百億圓」に改ム

第七條ノ三 日本勸業銀行法第三十一條ノ四但書ノ規定ハ之ヲ適用スズ

第十條ノ五第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

第一項ニ規定スル債券ガ社債ナル場合ニ於テハ舊法第三日六條第二項ノ規定ニ拘ラズ親令ヲ以テ別段ノ定ヲ爲スコトヲ得

第十條ノ六中「及前條第一項ニ規定スル證券」ノ下ニ「或ニ第十條ノ十二第一項ニ規定スル証券」ヲ加フ

第十條ノ十二 政府ハ資金ノ吸收ヲ圖ル爲メ要アリト認ムルトハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムル法人ヲシテ賣持券ノ中ニリ抽籤ヲ以テ賣買者ニ賣持券ヲ交付スルコトヲ得ル証券ヲ發賣スルコトヲ得

前項ニ規定スル證券ヲ發賣スル法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ賣持券ヨリ前項ノ資金及



命令ノ定ムル経費ヲ控除シタル後額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スベシ

第一項ニ規定スル証券ノ買入ガ法人税法、營業税法及臨時利得税法ニ依リ法人税、營業税法及臨時利得税法ニ依ル所得ヲ課セラルベキモノナルトキハ法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算ニ付テハ第一項ノ買入ハ當該法人ノ利益金ニ依リ之ヲ控除ス

第一項ノ証券ノ償却ハ一年前之ヲ行ハザルトキハ時價ニ依リテ消滅ス

政府ハ必要アリト認めルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項ニ規定スル証券ニ付テ之ヲ變賣スル法人ヨリ報告ヲ受シ又ハ該証券ノ他ノ検査ヲ為スコトヲ得

第一項ニ規定スル証券ニ關シ重要ナル事項ヲ調査審議スル爲メ該証券收買特別方策委員會ヲ置ク

第十條ノ十三 國民貯蓄準備政策ノ潤滑ナル運営ヲ圖ル爲メ都道府縣及市町村ニ國民貯蓄運営委員會ヲ置クコトヲ得

國民貯蓄運営委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ五中「及第十條ノ五第一項ニ規定スル証券ニハ」ヲ「、第十條ノ五第一項ニ規定スル



命令ノ定ムル経費ヲ控除シタル後額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スベシ

第一項ニ規定スル証券ヲ受賣スル法人ガ法人税法、營業税法及臨時利得税法ニ依リ法人税、營業税及臨時利得税ヲ課セラルベキモノナルトキハ法人税法ニ依ル所得、營業税法ニ依ル純益及臨時利得税法ニ依ル利益ノ計算ニ付テハ第一項ノ規定ハ該法人ノ利益額ヨリ、第一項ノ規定金額ニ前項ノ経費及納付金ハ該法人ノ總損益ヨリ之ヲ控除ス

第一項ノ規定ノ續行ハ一年前之ヲ行ハザルトキハ時價ニ依リテ消滅ス

政府ハ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項ニ規定スル証券ニ關シ之ヲ受賣スル法人ヨリ報告ヲ徴シ又ハ該証券ノ他ノ検査ヲ為スコトヲ得

第一項ニ規定スル証券ニ關シ重要ナル事項ヲ調査認識スル爲メ該証券收買特別方策委員會ヲ置ク

第十條ノ十三 國民貯蓄証券ノ流通ノ潤滑ナル經營ヲ圖ル爲メ道府縣及市町村ニ國民貯蓄運營委員會ヲ置クコトヲ得

國民貯蓄運營委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ五中「及第十條ノ五第一項ニ規定スル証券ニハ」ヲ、「第十條ノ五第一項ニ規定スル



裏面白紙

證券及爲十條ノ十二第一項ニ規定スル證券ニハ一ニ改ム

第十四條ノ六 左ノ各款ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ有價證券ノ移轉手續  
セズ

一 第十條ノ三ノ規定ニ基キ行商ニ付シ有價證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

二 第十條ノ五第一項、第十條ノ七、第十四條第二項又ハ第十四條ノ三第二項ノ規定ニ依リ又得

ニ付シ有價證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

三 第十條ノ十二第一項ノ規定ニ依リ又得ニ付シ有價證券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルトキ

第十八條及爲五條及第十八條ノ二中「第十六條」ノ上ニ「第十條ノ十二及五項又ハ一ニ加フ

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ付勅令ヲ以テ之ヲ定ム



臨時資金調整法中改定法律案理由書

院后ノ進展ニ伴ヒ愈々國民好善ノ増進、資金ノ吸收或ニ緊要産業資金ノ融通ナル供給等ヲ圖ル爲  
臨時資金調整法中改定ヲ要スルモノアリ是レ本案ヲ提出スル所以ナリ

裏面白紙



臨時資金調整法新舊對照

第二卷 終 紙

裏面白紙



第六條 日本興業銀行ハ五十百圓ヲ限リ日本興業銀行法第十二條ノ規定ニ依リ制限ヲ超テ債券ヲ發行スルコトヲ得

日本興業銀行ハ其ノ債券信託ノ爲債券ヲ發行スル場合ニ於テハ前項ノ制限ニ依ラザルコトヲ得日本興業銀行法第十六條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

政府ハ日本興業銀行ノ發行スル債券ニ付命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ元本ノ償還及利息ノ支拂ヲ保證スルコトヲ得

第七條ノ三 日本勸業銀行法第三十一條ノ四但書ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十條ノ五 政府ハ國民貯蓄ノ増進ヲ圖ル爲必要アリト認ムルトテハ前項債券及同債券ヲ除クノ外命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ定ムル者ヲシテ抽籤ヲ以テ剩餘額ヲ附スルコトヲ得ル債券其ノ他ノ證券ヲ發行セシムルコトヲ得

商法第二百九十六條乃至第二百九十八條、第二百九十九條第一項、第三百五條及第三百十七條ノ規定ハ前項ニ規定スル債券ガ社債ナル場合ニ之ヲ適用セズ第一項ニ規定スル證券ノ發行ニ依ル收入金ハ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ運用スベシ

第一項ニ規定スル債券ガ社債ナル場合ニ於テハ商法第三百六條第二項ノ規定ニ拘ラズ勸令ヲ以



特別ノ定手集ニコトヲ得

前條第二項ノ規定ハ第一項ニ規定スル證券ニ之ヲ準用ス

第十條ノ六 租買及証券譲渡取締法ハ第十條ノ四及前條第一項ニ規定スル證券就ニ第十條ノ十二

第一項ニ規定スル證券ノ譲渡ニ之ヲ準用ス

第十條ノ十二 政府ハ資金ノ取收ヲ爲ル爲必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ命令ノ

定ムル法人ヲシテ買得金ノ中ヨリ抽籤ヲ以テ購買者ニ當籤者ヲ交付スルコトヲ得ル證券ヲ發賣

セシムルコトヲ得

前項ニ規定スル證券ヲ發賣スル法人ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ買得金ヨリ前項ノ當籤金及

命令ノ定ムル経費ヲ控除シタル殘額ニ相當スル金額ヲ政府ニ納付スベシ

第一項ニ規定スル證券ヲ發賣スル法人ガ法人税云々、營業税法及臨時利得税法ニ依リ法人税ハ營

業税及臨時利得税ニ依リ之ヲ得ルベキモノナルトキハ法人税法ニ依リ所得、營業税云々ニ依リ總額及

臨時利得税法ニ依リ利益ノ計算ニ付テハ第一項ノ買得金ハ當該法人ノ總額ヨリ、第一項ノ當

籤金就ニ前項ノ買得金及買得金ハ當該法人ノ總額ヨリ之ヲ控除ス

第一項ノ買得金ノ償還ハ一年間之ヲ行ハザルトキハ時效ニ因リテ消滅ス



政府ハ必要アリト認ム

ルトモハ命令ノ定ムル所ニ依リ第一項ニ規定スル證券ニ付シテ之ヲ發賣スル法人ヨリ報告ヲ徴シ  
又ハ後等其ノ他ノ検査ヲ爲スコトヲ得

第一項ニ規定スル證券ニ付シテ重要ナル事項ヲ調査審議スル爲メ資金吸收特別方策委員會ヲ置ク  
資金吸收特別方策委員會ニ關スル規定ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ十三 國民貯蓄増進政策ノ進捗ナル運管ヲ圖ル爲メ道府縣及市町村ニ國民貯蓄運管委員  
會ヲ置クコトヲ得

國民貯蓄運管委員會ニ關スル規程ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十四條ノ五 第十四條ノ四ノ規定ニ依リ命令ノ定ムル者ノ發行スル證券及書状ノ五事ノ一項ヲ表  
定スル證券ノハ一十條ノ五第一項ニ規定スル證券及書状ノ十一第一項ニ規定スル證券ニハ印  
紙稅ヲ課セスヲ十條ノ三又ハ第十條ノ七ノ規定ニ基ク貯蓄ニ關スル書類ニシテ命令ノ定ムルモ  
ノ及第十條ノ五第一項ニ規定スル證券、貯蓄債券又ハ積立債券ニ關スル書類ニシテ命令ノ定ム  
ルモノニ付亦同ジ

第十四條ノ六 第十四條ノ三ノ規定ニ基ク貯蓄ニ關シテ積立債券其ノ他ノ有價證券ノ移轉アリタルト  
キハ命令ノ定ムル所ニ依リ有價證券移轉稅ヲ課セズ第十四條ノ三項ノ第一項ノ主事事項ノ一部



裏面白紙

才準用スル場合ヲ含ムルノ規定ニ依リ其ノ他ノ有價証券ノ移轉アリタルトキ亦同ジ

左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ有價証券ノ移轉アリタルトキ

一 第十條ノ三ノ規定ニ基ク好意ニシテ有價証券ノ移轉アリタルトキ

二 第十條ノ五第一項、第十條ノ七、第十四條第二項又ハ第十四條ノ三第二項ノ増設ノ支拂

ニ關シ有價証券ノ他ノ有價証券ノ移轉アリタルトキ

三 第十條ノ十二第一項ノ規定又ハ同條ノ三ノ規定ニ依リ有價証券ノ移轉アリタルトキ

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第十條ノ規定ニ依ル命令又ハ違分ニ違反シタル者

二 第十條ノ二第一項若ハ第二項ノ規定ニ依ル命令又ハ同條第三項ニ於テ準用スル企業整備費

金指置法（以下企業整備費金指置法ト稱ス）第六條第二項（同法第七條第二項ニ於テ準用ス

ル場合ヲ含ム）、第十二條第一項若ハ第十四條第二項ノ規定ニ違反シタル者

三 第十條ノ三又ハ第十五條ノ三ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十條ノ一ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル代表者

五 第十條ノ十二第五項又ハ第十六條ノ規定ニ違反シ報告ヲ爲サズ又ハ虚偽ノ報告ヲ爲シタル



裏面白紙

者

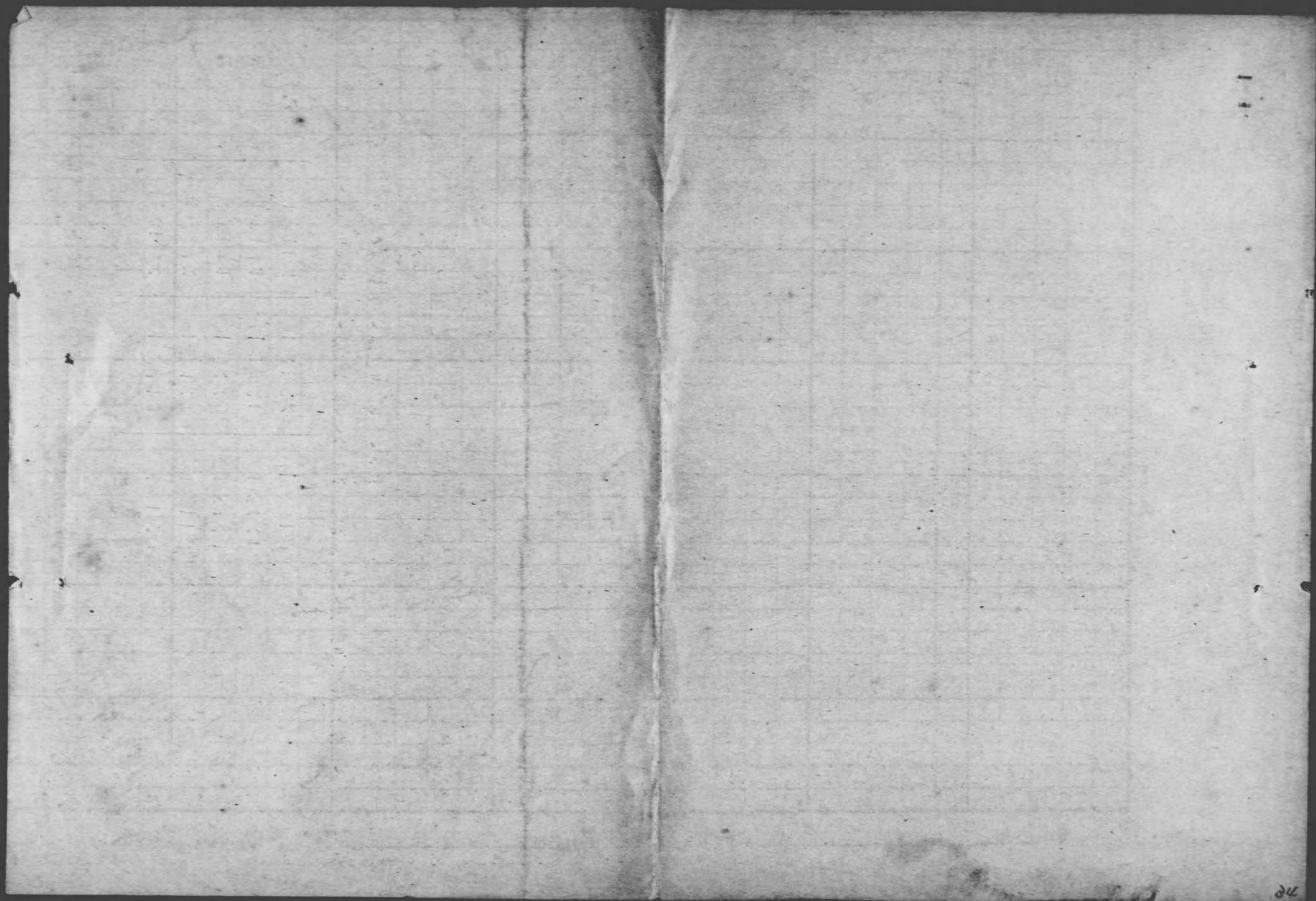
六 本法又ハ本法ニ基キテ變スル法令ニ依リ政府ニ提出スベキ許可又ハ認可ノ申請書其ノ他ノ  
書類ニ虚偽ノ記載ヲ爲シタル者

第十八條ノ二 第十條ノ十二第五項又ハ第十六條ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル  
者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ各規定ニ附則令ヲ以テ之ヲ定ム







三 取扱局

福券ノ賣捌ハ各郵便局ニ於テ取扱ヒ獎金ノ支拂ハ無集配特定郵便局以外ノ各郵便局ニ於テ取扱フモノナルコト

三 取扱方針

(イ) 郵便局ニ於ケル賣捌ハ窓口賣ニ限ルモノナルコト

(ロ) 逓信局及郵便局ニ對シ消化目標額等ノ割當ハ爲サザルモノナルコト

四 取扱手續

(イ) 福券ハ日本勸業銀行ニ於テ發行ニ係ル債券ト看做シ戰時債券ノ例ニ準ジ之ガ賣捌及



獎金ノ支拂ヲ爲スモノナルコト

(ロ) 福券ノ電報ニ於ケル略符號ハ「フク」ナルコト

(リ) 獎金ノ當籤番號表ハ戰時債券ノ例ニ依リ日本勸業銀行ヨリ取扱郵便局ニ配付ノ見込ナルコト

(ニ) 獎金ノ支拂期間ハ支拂開始期日ヨリ起算シ十ケ年間ナルコト

(ホ) 獎金所掌ノ表面ニ記載セシムベキ受領金額ハ受取人強所欄右方空白ニ記載セシムルコト

(ハ) 獎金附票ハ郵便振替貯金ニ依ル債券募集、元利金支拂並貸付事務特別取扱規程第四十一條第二號ノ二ノ例ニ依リ一通毎ニ債券元利金支拂簿及全支拂報告書ノ一般債券割

(共8號)

増金支拂額記載ノ次ニ記入スルコト

(ハ) 債券元利金支拂計算票ニ對スル福券ノ支拂額記載ハ一般債券元利金支拂額記載ノ次

ニ記入スルコト

五 其ノ他

(イ) 要員ハ差向増員セラレザル見込ナルコト

(ロ) 取扱報勞金ハ戰時債券ノ例ニ依リ支給セララル見込ナルコト



参考

明券ノ取扱料金ハ所要經費ヲ考慮シ賣額ニ付テハ賣額額券一通ニ付十五錢額増金支拂ニ付テ  
ハ支拂額増金附票一通ニ付十錢トスルコトニ大蔵省ト折衝中（現行取時債券ノ料金率ニ依ル  
額支拂額増金附票一通ニ付四錢五厘）トキハ賣額額券一通ニ付十三

Table with 10 vertical columns and faint horizontal lines, containing very light and illegible text.

(共 8 段)



--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(共 8 號)



別紙  
送付物

大藏省令八十九 號

臨時資金調整法第十條ノ三及第十條ノ五ノ規定ニ基キ福券規則左ノ  
通定ス

福券規則

第一條 大藏大臣ハ本令ノ定ムル所ニ依リ日本勸業銀行ヲシテ抽籤  
ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得ル證券ヲ發行セシムルコトヲ得

前項ノ證券ハ之ヲ福券ト稱シ割増金ハ之ヲ獎金ト稱ス

第二條 福券ハ券面金額二十圓以下トシ券面金額ヲ以テ賣出スモノ  
トス

第三條 福券ハ無利子トス

第四條 福券ハ發行ノ翌年ヨリ三十年以内ニ之ヲ償還スベシ

裏面白紙



裏面白紙

第五條 獎金貯與ノ方法。獎金ノ金額及獎金支拂ノ方法ハ大藏大臣別ニ之ヲ定ム

第六條 大藏大臣ハ日本勸業銀行ニ對シ編券ノ發行。償還。收入金ノ運用方法其ノ他ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



裏面白紙

添付物

第一回開券發行條件

- 一 發行額 五千萬圓（五百萬枚）
- 二 券面金額 十圓
- 三 賣出期間 自昭和十九年九月二十五日至昭和十九年十月十五日
- 四 償還期限 昭和十九年十月十五日
- 五 償還方法 償還期限ニ至リテ全額償還ヲ行フ
- 六 獎金 金

(1) 獎金ノ金額及附與ノ方法

十萬枚ヲ以テ一組トシ各組ニ對シ抽籤ヲ以テ左ノ獎金ヲ附ス

特級	一箇ノ金額	附與箇數
一等	五萬圓	一本
前級賞	千圓	二本
二等	五千圓	九本
前後賞	五十圓	拾八本



三 等 五百圓  
 四 等 拾五圓  
 (四) 獎金ノ支拂方法  
 總テ現金捺トス  
 (三) 獎金抽籤期日  
 昭和十九年十一月二十五日  
 (二) 獎金支拂期日  
 昭和十九年十二月二十日

九拾本  
 壹萬六千九百本  
 (一) 抽籤期日  
 昭和十九年十一月二十五日  
 (二) 抽籤期日  
 昭和十九年十一月二十五日

裏面白紙















藏貯票一五一一號

昭和十九年八月十九日

大藏省國民貯蓄局長

縣知事 殿

國券制度ノ實施竝ニ第一回賣出ニ關スル件  
 國民貯蓄増強ノ要急ニ緊切ナルニ鑑ミ今般日本勸業銀行ヲシテ高額割  
 増金附屬券ヲ購券ナル名稱ノ下ニ發行セシメ以テ新興所得階層ヲ主々  
 対象トシ普通ノ方法ニテハ其ノ貯蓄化頗ル困難ナル一部國民大衆ノ  
 手許資金ノ吸收ヲ圖ルコトトシ今別紙要領ニ依リ之ガ第一回ノ賣出  
 ヲ實施スルコトト相成候條各關係取扱機關ト協議ノ上概ネ左記ニ據リ  
 本件ノ細目ニ關シ實施方ニ何何分ノ御注意相煩度此段及這際候也

裏面白紙



記

- 一、本券ハ從來ノ貯蓄手段ヲ以テシテハ級徴多ク得ザル部面ノ資金ヲ吸收スル爲メ創設セラレタルモノナルコト
- 二、郵便制度創設ノ趣旨ニ鑑ミ自由消化ヲ建前トシ隣保等ニ對スル割當ハ絕對ニ之ヲ行ハザルコト
- 三、本券ノ各都道府縣ニ對スル配分ハ總目標額或ハ國債債券消化目標額等ノ何れ標準トスルコトナク專ラ所期ノ目的達成ノ見地ヨリ重點的ニ之ヲ行フモノナルコト
- 四、前號ノ關係上之ガ曹摺機關ハ全國劃一的ノ方法ヲ選ケタルヲ以テ貴縣(都、道、府)ノ實情ニヨリ最モ實效ヲ舉グルガ如ク之ガ種類及配置ヲ定ムルノ要アルコト、之ガ爲速ニ最寄日本勸業銀行支店(東京都ニ在リテハ同行本店)ト協議連絡セラレタキコト(郵券賣出要領參照)
- 五、二ノ關係ヨリシテ本券ノ周知宣傳ハ時ニ努力ヲ要スベキモノナルコト而シテ一應ノ周知宣傳ニ付テハ賣出機關タル日本勸業銀行之ニ當



ルベシモ尙不充分ナルヲ免レザルベク特ニ新興所得階層方面ニ對スル周知徹底ニ關シテハ貴縣(都、道、府)ニ於テモ同行ト協議ノ上充分配意アリ度コト

六、本券ノ直接賣捌ハ四ニヨリ各賣捌機關ニ於テ之ニ當ルモ貴縣(都、道、府)ニ於テモ之ヲ消化促進ニハ充分協力セラレ度關係取扱機關ヨリノ便宜供與方ノ申出ニ對シテハ何分ノ配意アリ度コト

七、就中産報、勞報、梅報、會社工場方面等ヲシテ之ガ賣捌ノ幹能ヲナサシムル場合ニハ特ニ配意アリ度コト

八、彌券購入ニ依ル貯蓄ハ國民貯蓄組合ノ貯蓄トハナラザルモノナルニ付此ノ點誤解ナキ様指導セラレ度コト

九、彌券消化額ノ六割ノ金額ヲ以テ各都道府縣ノ國民貯蓄増加實績ヲ計算スルコト

追而國民貯蓄月別増加高欄(試算表)ニ付テハ「ミ」賣出國債及戰時債券」ノ欄ニ合算計上シ摘要欄ニ當該金額ノ當月分及累計ヲ夫々記載スルコト



裏面白紙

別紙

第一回福券發售要領

發行機關

日本商業銀行

券面金額

十圓

賣出價格

十圓

償還期限

元金ハ無利息トシ當籤分証券ヲモ含メ賣出期間終了後

二十年ノ後償還ス

自昭和十九年九月廿五日

至昭和十九年十月十五日

七會抽籤額

所請新興所得階級ヲ主タル對象トシテ消化ヲ圖ルモノ

六會抽籤額

トシ日本商業銀行本支店代理店ノ由該本支店ガ各都

五會抽籤額

道府縣ト命註シテ各地方ノ實情ニ副シ適當ナル者ヲ選

四會抽籤額

取テ選定スルモノトス(各會抽籤額、百貨店、煙草

三會抽籤額

店等)

二會抽籤額

尚産物、勞務、海城、田産、大倉社工場等ヲシテ抽

一會抽籤額

籤額ニ當ラシムルモノトス



裏面白紙

八 獎 金

十萬枚ヲ以テ一紙トシ各紙ニ對シ抽籤ヲ以テ左ノ獎金  
(増給金)ヲ附ス

獎金ハ紙テ現金拂トス

等 級 一箇ノ金額

附與個數

一 等 五萬圓

一 本

前後賞 千圓

二 本

二 等 五千圓

九 本

前後賞 五十圓

十八 本

三 等 五百圓

九〇 本

四 等 十五圓

一六九〇 本

昭和十九年十一月下旬ノ見込

抽籤ハ一回限トス

十二月中旬ノ見込

日本勸業銀行本支店代理店

○ 支 獎 日 金

一、 抽 籤 日 金

備 考

✓ 支 抽 籤 機 關 二 獎 金 支 拂 後 額 ト シ テ 抽 籤 寫 字 ヲ 利 用 ス ル ヤ 否 ヤ ニ 關 シ  
テ ハ 追 面 請 示 ノ 見 込



匯券規則 (案)

- 第一條 日本勸業銀行ハ本令ノ定ムル所ニ依リ抽籤ヲ以テ割増金ヲ附スルコトヲ得ル證券ハ本令ニ於テハ福券ト稱スルヲ發行スベシ
  - 第二條 福券ハ券面金額二十圓以下トシ券面金額ヲ以テ賣出スモノトス
  - 第三條 福券ハ無利子トス
  - 第四條 福券ハ發行ノ翌年ヨリ三十年以内ニ之ヲ償還スベシ
  - 第五條 福券ニハ抽籤ヲ以テ割増金ハ本令ニ於テハ獎金ト稱スルヲ附スルコトヲ得
  - 第六條 獎金附與ノ方法、獎金ノ金額及獎金支拂ノ方法ハ大藏大臣別ニ之ヲ定ム
  - 第七條 大藏大臣ハ日本勸業銀行ニ對シ福券ノ發行、回收、收入金ノ運用方法其ノ他ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
- 附則
- 本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス



参考

種別	一組發行額	全右枚數	割増金總額	發行總額ニ對スル割合	割増金當籤總數	發行枚數ニ對スル割合	抽籤期	全右回數	元金据置期間
報國債券	1,000,000圓	100,000枚 (一枚10圓)	2,843,500圓	二八四	33,000本	100枚ニ付三三本 (三枚ニ付一本)	一年一回	一回	一〇年
郵便貯金切手	200,000圓	100,000枚 (一枚二圓)	32,000圓	一六〇	1,182,400枚	100枚ニ付一二本 (八枚ニ付一本)	發行當月	一回	特別据置 五年
福稟付樂券	1,000,000圓	100,000枚 (一枚10圓)	3,964,000圓	三九六	1,702,000枚	100枚ニ付一七本 (六枚ニ付一本)	發行翌月	一回	二〇年

報國債券  
郵便貯金切手  
福稟付樂券  
割増金等條件一覽

報國債券ハ割増金當籤ノ分ハ元金償還

考

裏面白紙



備考

等別	一等	全前後賞	二等	全前後賞	三等	四等
金額	1,000		100			
本数	1		1		5	1
金額	1,000		100			
本数	1		1		5	2
金額	5,000		500		500	150
本数	1		1		1	1

割増金内譯

裏面白紙



裏面白紙

報國債券發行數及郵便局賣却數調

年 度	(1) 發 行 高 額		(2) 郵 便 局 扱		(2) (1) 對 比 割 合	
	枚 數	金 額	枚 數	金 額	枚 數	金 額
昭和十五年度	二六五〇〇 <small>千枚</small>	二一五〇〇〇 <small>千圓</small>	八〇八五六五九 <small>枚</small>	八〇八五六五九 <small>圓</small>	三〇、四%	三〇、四%
昭和十六年度	一六二〇〇	一四七〇〇〇	五二二四七三八 <small>枚</small>	四〇、二二六、二二五	二七、二	二七、三
昭和十七年度	三二、八〇〇	二四一、五〇〇	九四二五四六一 <small>枚</small>	六九、八二〇、〇四五	二八、七	二八、九
昭和十八年度	一三、四〇〇	一二六〇〇〇	三、一八一、五三七 <small>枚</small>	三三、七三一、九一〇	二三、七	二六、七
昭和十九年四月	一、二〇〇	一、二〇〇〇	二九三、六四二 <small>枚</small>	二九三、四六二	二四、五	二四、四
六月	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇	五二三、七六九 <small>枚</small>	五二三、七六九	二六、二	二六、二
八月	一、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇四、七二四 <small>枚</small>	二〇四、七二四	二〇、五	二〇、五
(豫定)						



裏面白紙

三、債券元利金支拂状況

年次	種別	(1)郵便局支拂	其ノ他	(2)合計	ス(1)ノ(2)ニ對ル割合%
昭和十四年度		八、九〇、八、二二九	二、六四四、三三六	一、五五二、五六五	七七、一%
昭和十五年度		一〇、二六五、三九五	二、〇五三、八一〇	一、二、三一、九二〇五	八三、三%
昭和十六年度		一一、九六〇、三四八	二、四九六、四五五	一、四四、五六、八〇三	八二、七%
昭和十七年度		一四、八四一、四二二	二、九六八、二八四	一、四八〇、九七〇六	八三、三%
昭和十八年度		一七、六四六、四五〇	三、六二九、二九〇	二、一、二七、五、七四〇	八二、九%



裏面白紙

四、福東附奏券發行高竝郵便局扱見込調  
 ( ) 賣出

月 別	十九年度(初年度)		二十年(平年度)		計
	九月一十月	十一月一月	二月一三月	計	
發行	枚數	五、〇〇〇 <small>千枚</small>	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一五、〇〇〇
發行	金額	五〇、〇〇〇 <small>千圓</small>	五〇、〇〇〇	五〇、〇〇〇	一五〇、〇〇〇
郵便局扱	枚數	五〇〇 <small>千枚</small>	五〇〇	五〇〇	一、五〇〇
郵便局扱	金額	五〇〇〇 <small>千圓</small>	五〇〇〇	五〇〇〇	一五〇〇〇

備考  
 郵便局引受高ハ發行  
 高ノ一割ト推定ス



裏面白紙

二十年度(平年度)	計	十九年度(初年度)			月別	(一) 割増金支拂
		三月	一月	十二月		
四、二五五、〇〇〇	二、五五三、〇〇〇	八五、〇〇〇	八五、〇〇〇	八五、〇〇〇	當	高
					籤	
						高
三、四〇四、〇〇〇	二、〇四二、四〇〇	六八、〇〇〇	六八、〇〇〇	六八、〇〇〇	支	高
					拂	
						高
						備
						考

八支拂高ハ當籤高ノ  
割ト推定ス



裏面白紙

五、 報國債券郵便取扱停止ト福葉附債券取扱ニ伴フ  
所要人員見込

種別	報國債券	福葉附債券	差額	能率	人員
賣出	二、〇四四、二七〇 枚	二、五〇〇、〇〇〇 枚	四、五五七、三七〇 枚	三四五〇〇 枚 (一日一一五)	一五五人
割増金支拂	二、二一七、六〇〇	三、四〇四、〇〇〇	一、一八六、四〇〇	二四九〇〇 (一日八三)	四八人

備考

現在國債、債券ノ郵便取扱ニ配置セル人員ハ左ノ如シ

賣出 約二三七名  
元利金支拂 約八八二名



結了

昭和十九年九月二十一日

二葉 440 號

貯業 1010 號

發送 校 録 押 書

昭和十九年九月二十一日



専事

課長

二葉  
専事  
(印)

案

貯金保険局

関東逓信官署逓信局宛

郵便官署ニ於ケル福券取扱ニ関スル件

對貴局發事務局報第一一六一號(九、一九)

右ヲ以テ未照ニ係ル郵便官署ニ於ケル福券取扱

ニ関シテハ別紙逓信局長宛通牒ニ依リ了知相



成  
度



紙用議回報電

要 摘		局長 課長 係長		類 種		
考 備	文	本	定 指	宛 名		
		カ	ウ	一	カ ン ト ウ テ イ シ ニ	
		ウ	ノ	リ		九
		、	シ	サ		ヒ
		ス	ハ	バ		一
		又	ラ			一
			イ	キ		六
			ノ	、		一
		ミ	セ	シ		
		ア	タ	キ		
		ツ	キ	、		
		纂	編	案	立	
		紙 數	保 存	送 付	一 九 年 九 月 十 日	
		枚	年	日	號	

即金掌務課

(號共)



報 送  
 送 付  
 主 送  
 日 付  
 年 月 日  
 主 送  
 日 付  
 年 月 日

六

リムセフ、タイレン 一六六 三四  
 ツウシンインナイ  
 チヨキンホケンキヨク

28



キタル九、二五ヒヨリウリダ シカイシノヨシナルフクケンハユウ  
 必々必ビ ンカンシヨニオイテモトリアツカヒヨナスベ キヤイナヤ  
 (シツ)カントウテイシン

譯文  
 未九月二十五日ヨリ賣出開始也由廿五端券ハ郵便官署ニ於テ  
 取扱ヲナスベキヤ回報アリテハ開束連信

務課  
 一第 92 簿  
 昭和19年9月1日

めくれず

裏面白紙